



## 2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月6日

上場会社名 株式会社 吉番屋

上場取引所 東 名

コード番号 7630 URL <https://www.ichibanya.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役 社長執行役員 （氏名） 葛原 守

問合せ先責任者 （役職名） 経営企画室長 （氏名） 林 賢治 TEL (0586) 81 - 0792

半期報告書提出予定日 2025年10月14日

配当支払開始予定日 2025年11月14日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	32,018	8.2	2,526	5.5	2,708	8.9	1,384	△11.0
2025年2月期中間期	29,599	10.4	2,393	△3.0	2,487	△4.6	1,554	9.6

（注）包括利益 2026年2月期中間期 1,198百万円（△43.3%） 2025年2月期中間期 2,114百万円（18.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	8.68	—
2025年2月期中間期	9.75	—

（注）前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年2月期中間連結会計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期中間期	47,477	32,554	67.5	200.67
2025年2月期	46,585	32,600	68.8	200.88

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 32,027百万円 2025年2月期 32,052百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2026年2月期	—	8.00	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,300	10.3	5,400	9.6	5,500	5.9	3,300	4.0	20.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー  
除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(中間期)

2026年2月期中間期	159,630,000株	2025年2月期	159,630,000株
2026年2月期中間期	24,680株	2025年2月期	70,026株
2026年2月期中間期	159,576,240株	2025年2月期中間期	159,537,223株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、「添付資料」P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当連結会計年度より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前中間連結会計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
3. 補足情報 .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

2023年12月28日に行われた株式会社LFD JAPANとの企業結合において、前中間連結会計期間に暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間に確定したため、前中間連結会計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年3月1日～2025年8月31日)の業績は、売上高が320億18百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は25億26百万円(同5.5%増)、経常利益は27億8百万円(同8.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は13億84百万円(同11.0%減)となりました。

売上高は、国内CoCo老番屋の価格改定効果や国内子会社事業の事業拡大等が寄与し、増収となりました。

利益面につきましては、米をはじめとする食材の仕入価格高騰や、人件費・物流費の増加等があったものの、売上が好調に推移したこと等から営業利益・経常利益は増益となりました。

一方、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、本部のソフトウェア入れ替えに伴う固定資産除却損や、店舗に係る減損損失の増加等から前年同期を下回る結果となりました。

当中間連結会計期間における分野別の取り組み状況は以下のとおりであります。

#### (国内CoCo老番屋)

直営店とフランチャイズ加盟店を合計したグループ全体の店舗売上高は、全店ベースで463億53百万円(前年同期比2.7%増)となりました。また、既存店ベースでは同2.2%増と堅調に推移いたしました。

客単価は、昨年8月にベースのカレーソースやトッピング等のメニュー価格の改定を行ったこと等から、前年同期比8.1%増となりました。

一方、客数は、前年同期比5.4%減となりました。昨年8月に行ったメニュー価格の改定以降、前年の水準を下回って推移する中、客数の回復に向けて、落ち込みの大きかった配達代行の引き上げ策として、「UberEats」キャンペーンを実施するとともに、当社アンバサダーの俳優・山田裕貴さんが出演するテレビCMの全国放映をはじめ、アイドルグループ「日向坂46」や、人気ゲームソフト「モンスターハンターワイルズ」とのコラボキャンペーン等、幅広い顧客層の来店動機を高めるために、様々なマーケティング活動を実施いたしました。

また、出退店の状況につきましては、新規出店が12店舗、退店が7店舗あり、店舗数は前期末から5店舗増加し、1,208店舗となりました。

#### (海外CoCo老番屋)

全店ベースの店舗売上高は、90億39百万円(前年同期比1.7%減)となりました。為替の影響を除いた既存店ベースでは、イギリスが好調に推移したものの、中国、台湾等では前年の水準を下回り、前年同期比1.9%減となりました。

また、出退店の状況につきましては、新規出店が8店舗あったものの、中国等において不採算店舗の撤退が11店舗あり、店舗数は前期末から3店舗減少し、213店舗となりました。

なお、新たな展開エリアとして、グアム1号店となる「Guam Donki(グアムドンキ)店」をオープンいたしました。

(注) 海外店舗の既存店売上高前年同期比の数値の算出にあたっては、為替の影響を除いております。

#### (国内子会社事業)

「旭川成吉思汗(ジンギスカン)大黒屋」は、ドミナント展開を進めている札幌すすきのエリアに2店舗を出店いたしました。店舗数は前期末から2店舗増の10店舗となり、店舗売上高は7億98百万円(前年同期比32.9%増)となりました。

「麺屋たけ井」は、3月にCoCo老番屋のフランチャイズオーナーによる初めての店舗となる橿原店(奈良県)を出店したほか、5月には近鉄京都駅構内に近鉄京都駅店を出店いたしました。店舗数は前期末から2店舗増の13店舗となり、店舗売上高は6億30百万円(前年同期比44.5%増)となりました。

「博多もつ鍋前田屋」は、新規出店はなかったものの、既存店の売上が好調に推移し、5店舗合計の店舗売上高は4億95百万円(前年同期比16.7%増)となりました。

らーめん小僧等を経営する「株式会社KOZOU」の店舗売上高は、1億33百万円となりました。なお、7月に愛知県初となる「極濃豚骨 らーめん小僧 名古屋錦店」を出店し、店舗数は7店舗となりました。

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は474億77百万円となり、前連結会計年度末比8億92百万円増加いたしました。このうち流動資産は217億21百万円となり、前連結会計年度末比2億83百万円増加いたしました。これは主に売掛金が6億96百万円増加したこと等によるものであります。また固定資産は257億55百万円となり、前連結会計年度末比6億8百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が3億83百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債は149億23百万円となり、前連結会計年度末比9億37百万円増加いたしました。これは主に買掛金が3億15百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産は325億54百万円となり、前連結会計年度末比45百万円減少し、自己資本比率は前連結会計年度末の68.8%から67.5%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8億2百万円減少し、144億61百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、25億67百万円(前年同期は18億13百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益21億43百万円の計上、減価償却費9億86百万円、減損損失3億35百万円の非現金支出費用があった一方で、法人税等の支払額7億76百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、17億80百万円(前年同期は14億93百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出14億80百万円、無形固定資産の取得による支出2億78百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、14億60百万円(前年同期は14億97百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払額12億75百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月4日付の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,480	14,678
売掛金	3,677	4,374
商品及び製品	886	936
仕掛品	34	94
原材料及び貯蔵品	288	332
その他	1,070	1,306
流動資産合計	21,438	21,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,915	6,299
機械装置及び運搬具(純額)	762	696
土地	5,178	5,169
リース資産(純額)	1,397	1,613
その他(純額)	891	1,113
有形固定資産合計	14,146	14,892
無形固定資産		
のれん	2,089	1,944
その他	2,303	2,121
無形固定資産合計	4,393	4,066
投資その他の資産		
投資有価証券	531	568
繰延税金資産	1,212	1,266
差入保証金	4,550	4,559
その他	316	406
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	6,607	6,797
固定資産合計	25,147	25,755
資産合計	46,585	47,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,878	3,193
1年内返済予定の長期借入金	14	12
未払金	1,929	2,115
未払法人税等	880	928
賞与引当金	485	419
株主優待引当金	235	284
その他	944	1,138
流動負債合計	7,369	8,092
固定負債		
長期借入金	65	59
リース債務	1,126	1,310
退職給付に係る負債	1,122	1,144
長期預り保証金	3,410	3,407
資産除去債務	616	635
その他	274	272
固定負債合計	6,615	6,830
負債合計	13,985	14,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,503	1,503
資本剰余金	1,392	1,388
利益剰余金	27,842	27,948
自己株式	△72	△25
株主資本合計	30,665	30,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	187
為替換算調整勘定	1,159	973
退職給付に係る調整累計額	63	51
その他の包括利益累計額合計	1,386	1,212
非支配株主持分	547	526
純資産合計	32,600	32,554
負債純資産合計	46,585	47,477

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	29,599	32,018
売上原価	14,922	16,054
売上総利益	14,677	15,963
販売費及び一般管理費	12,283	13,436
営業利益	2,393	2,526
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	62
受取家賃	437	455
その他	51	131
営業外収益合計	502	649
営業外費用		
支払利息	3	35
賃貸費用	340	354
その他	64	76
営業外費用合計	408	467
経常利益	2,487	2,708
特別利益		
固定資産売却益	2	4
店舗売却益	69	14
特別利益合計	71	19
特別損失		
固定資産除却損	8	246
減損損失	184	335
その他	—	2
特別損失合計	193	584
税金等調整前中間純利益	2,366	2,143
法人税、住民税及び事業税	830	827
法人税等調整額	△54	△82
法人税等合計	776	745
中間純利益	1,589	1,398
非支配株主に帰属する中間純利益	34	13
親会社株主に帰属する中間純利益	1,554	1,384

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	1,589	1,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	23
為替換算調整勘定	472	△211
退職給付に係る調整額	△0	△11
その他の包括利益合計	525	△199
中間包括利益	2,114	1,198
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,027	1,210
非支配株主に係る中間包括利益	87	△11

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	2,366	2,143
減価償却費	832	986
減損損失	184	335
のれん償却額	136	145
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23	△64
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6	7
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	63	48
受取利息及び受取配当金	△13	△62
支払利息	3	35
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△4
店舗売却損益 (△は益)	△69	△14
固定資産除却損	8	246
売上債権の増減額 (△は増加)	△754	△711
棚卸資産の増減額 (△は増加)	103	△155
仕入債務の増減額 (△は減少)	395	328
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△120	161
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	△45	△3
その他	△258	△104
小計	2,859	3,317
利息及び配当金の受取額	13	62
利息の支払額	△3	△35
法人税等の支払額	△1,055	△776
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,813	2,567
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△364	△205
定期預金の払戻による収入	206	204
有形固定資産の取得による支出	△941	△1,480
無形固定資産の取得による支出	△502	△278
店舗売却による収入	127	32
関係会社株式の取得による支出	—	△44
その他	△20	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,493	△1,780
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△64	—
短期借入金の返済による支出	△6	△7
リース債務の返済による支出	△142	△167
配当金の支払額	△1,275	△1,275
その他	△9	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,497	△1,460
現金及び現金同等物に係る換算差額	230	△129
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△947	△802
現金及び現金同等物の期首残高	15,707	15,264
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,760	14,461

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正 会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)及び当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

国内外の店舗売上高及び出店の状況

①「国内カレーハウスCoCo壺番屋売上高」(前年同期比増減率)

(単位：%)

	第1四半期 (2025/3-5)	第2四半期 (2025/6-8)	中間期 (2025/3-8)
全店売上高	4.0	1.6	2.7
既存店売上高	3.6	0.9	2.2
客数	△6.1	△4.8	△5.4
客単価	10.3	6.0	8.1

(注) 店舗売上高は、直営店とFC店の売上高を合計したものであります。

②「海外国別カレーハウスCoCo壺番屋売上高」(前年同期比増減率)

(単位：%)

	第1四半期	第2四半期	中間期
全店売上高	0.7	2.9	1.8
既存店売上高	△1.8	△2.1	△1.9
連結子会社計	△2.8	△2.6	△2.7
中国	△4.5	△6.6	△5.6
イギリス	11.1	4.9	7.9
台湾	△6.5	△6.0	△6.2
アメリカ	0.0	0.4	0.2
香港	△3.7	0.5	△1.5
FC展開エリア計	△0.7	△1.6	△1.2
タイ	△4.7	△4.9	△4.8
韓国	△0.5	0.3	△0.1
その他FC展開エリア計	2.1	△0.4	0.8

(注) 1. 連結子会社は、該当会計期間である2025年1月～6月の実績であります。

2. その他FC展開エリアは以下の国々であります。

インド、アメリカ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、中国、ベトナム  
(※アメリカと中国は、当社連結子会社の他にFCによる展開も行っております。)

3. 算出にあたっては、為替の影響を除き計算しております。

③「カレーハウスCoCo壺番屋既存店売上高の予想値との比較」(前年同期比増減率)

(単位：%)

		第1四半期	第2四半期	中間期
国内店舗	予想値	5.2	△0.1	2.7
	実績値	3.6	0.9	2.2
	差異	△1.6	1.0	△0.5
海外店舗	予想値	△0.4	1.6	0.6
	実績値	△1.8	△2.1	△1.9
	差異	△1.4	△3.7	△2.5

(注) 予想値は2025年4月4日付の決算短信で公表いたしました当期の業績予想の試算にあたって設定した数値であります。

④「国内業態別出店状況」

(単位：店)

会社名	展開ブランド	新規出店数		退店数		純増店舗数		2025年8月末 店舗数	
			内、直営		内、直営		内、直営		内、直営
(株)壺番屋	CoCo壺番屋	12	10	7	4	5	5	1,208	119
	パスタ・デ・ココ	2	1	—	—	2	1	29	4
	その他	—	—	1	1	△1	△1	2	2
小計		14	11	8	5	6	5	1,239	125
(株)大黒商事	大黒屋	2	2	—	—	2	2	10	8
(株)竹井	たけ井	2	1	—	—	2	1	13	12
(株)LFD JAPAN	前田屋	—	—	—	—	—	—	5	5
(株)KOZOU	らーめん小僧 他	1	1	1	1	—	—	7	7
小計		5	4	1	1	4	3	35	32
合計		19	15	9	6	10	8	1,274	157

- (注) 1. CoCo壺番屋では、直営店からFC店への譲渡を2店舗、FC店から直営店への譲受を1店舗実施いたしました。
2. 大黒屋では、㈱壺番屋の子会社である㈱ITEカンパニーがフランチャイジーとして2店舗を経営しております。
3. たけ井では、CoCo壺番屋のFCオーナーがフランチャイジーとして1店舗を経営しております。
4. 対象期間は、2025年3月～8月の実績であります。

⑤「海外国別出店状況」

(単位：店)

		新規出店数	退店数	純増店舗数	2025年8月末 店舗数
連結 子会社	中国	1	4	△3	27
	イギリス	—	—	—	2
	台湾	2	4	△2	39
	アメリカ本土	—	—	—	6
	香港	—	—	—	9
小計		3	8	△5	83
FC 展開 エリア	インド	—	—	—	2
	タイ	—	2	△2	45
	韓国	3	—	3	39
	アメリカ本土	—	—	—	1
	ハワイ	—	—	—	4
	グアム	1	—	1	1
	シンガポール	—	—	—	3
	インドネシア	—	—	—	11
	フィリピン	1	—	1	18
	中国	—	—	—	1
	ベトナム	—	1	△1	5
小計		5	3	2	130
合計		8	11	△3	213

- (注) 1. 対象期間は、各国とも2025年3月～8月の実績であります。
2. 海外店舗の業態はすべてCoCo壺番屋であります。